

# 平成 19 年度『市長と語ろう』地域懇談会記録

平成 19 年 11 月 13 日(火) 午後 6 時 30 分～ 8 時 30 分

【会場】末広コミュニティセンター 出席者】12 名

【対象地域】若松町・末広町・弥生町

担当部	意見・要望の要旨	回答の要旨
経済部	<p>夕張のようにならないと思うが、北海道の中で富良野市はどのくらいの財政的な位置づけか。</p> <p>中心街なども含めて明るい話題はないのか。</p>	<p>全体での比較が難しいが、総合的な借金度合を見る実質公債比率では、富良野が平成 19 年度で 13.5%。室蘭や歌志内は 35%を超えている。借金の部分では富良野市は少ない。しかし、家庭でいう貯金を使って今まで運営していたので、貯金が無くなったら赤字が累積して他市と変わらなくなる。</p> <p>外国人観光客が増えている。富良野では 1 万 5 千人の外国人客を目標にしている。3 年前は 300 人だったが、今年は 1 万人。豪州人、台湾人、韓国人、中国人が増えてきている。</p> <p>移住のホームページでは 1 ヶ月 3 0 0 0 件の紹介がある。若い世代が入ってくる状況を作りたい。</p> <p>昨年は 7 万 7 千人の修学旅行生が来た。感動と体験ができ、緑峰高校との交流もできるという条件が整っているので今後はもっと修学旅行生を増やしていきたい。</p>
市民部	<p>○富良野市は国民年金の未収問題をどのように取り組んでいるのか。</p>	<p>○国民年金は昭和 36 年にスタートした。当時は富良野市で徴収していたが、その後、社会保険庁に所管が移行されたため、市では未収状況が把握できないが、社会保険庁に問合せは出来ると理解してほしい。</p>
建設水道部	<p>○本通りの歩道は、商店の人たちが午前 3 時から除雪している。除雪車が来るころは既に終わっているので歩道の除雪は要らない。他の必要なところで除雪をしてもらっていいと思っている。</p>	<p>○貴重な話を頂いた。商店街については空き店舗があったり、歩道に出す方がいて通学路の確保のため歩道の除雪を入れている。協力いただけることはありがたい。今後も協力を頂きながら、通学路の確保に努めてまいりたい。</p>

担当部	意見・要望の要旨	回答の要旨
建設水道部	除雪をしていないと話があったが、私は古い住宅地に住んでいるので雪捨て場が無い。都市計画の中で雪捨て場を確保してほしい。	○開発行為の際に3%の緑地を取っており、雪捨て場の確保にもなる。旧市街地は空き地が少なく、排雪は年2~3回なので、みなさんにはそれまでの間ご苦勞をおかけしている。町内会で協力したり、地域の空き地や公園を利用して解決しているところもある。
経済部	○富良野の観光は頑張っていると思う。新聞では「富良野のイメージがよく、移住したいまちとして魅力がある」とあった。	○ブランド総合研究所のインターネット調査で全国約700市中総合8位となり2年連続10位以内に入った。2万5千人の市がベスト10に入っているのは珍しい。細かい調査では「豊かさを感じる」1位。「自然にやさしい」1位。「農産物イメージ」1位。「行きたい観光地」3位と国民のイメージは非常に高く評価された。 農村観光都市の形成を行うため、北海道大学の助言を受け、観光計画を策定することになっている。
建設水道部	○観光用のトイレがない	○観光トイレとして、駅前北公園とパークゴルフ場(スポーツセンター)がある。街の中の店舗のトイレも利用してもらっている。公園整備では利用者のトイレとして整備している。
建設水道部	○「くにい」の取り壊し後は、どのようになるのか。	○法定協議会で基本構想をつくり、跡地活用計画が市に提案されることになっている。